



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ  
 コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡村 陽久  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益 又は損失(△)		経常利益 又は損失(△)		親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	18,023	△19.9	△104	—	△21	—	△227	—
2019年3月期第2四半期	22,488	5.8	566	50.2	525	32.7	262	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △187百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 149百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益 又は1株当たり 四半期純損失(△)	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△5.87	—
2019年3月期第2四半期	6.77	6.76

(注) 1. 2020年3月期第2四半期について、営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失のため、各項目の対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの1株当たり四半期純損失のため、記載しておりません。

2. 2019年3月期第2四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益の対前年同四半期増減率については、2018年3月期第2四半期が親会社株主に帰属する四半期純損失のため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	16,929	11,176	65.0	284.07
2019年3月期	17,820	11,523	63.8	293.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 11,007百万円 2019年3月期 11,369百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	3.44	3.44
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	38,000	△9.2	200	△72.3	230	△74.5	30	△95.9	0.77

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

2. 1株当たり当期純利益は、当第2四半期末の自己株式を除いた発行済株式数である38,750,700株を期中平均株式数と仮定して算出しております。

3. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):有  
除外 1社 (社名) ADWAYS INNOVATIONS INDIA PVT. LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :無
- ④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	41,588,500株	2019年3月期	41,588,500株
2020年3月期2Q	2,837,800株	2019年3月期	2,837,800株
2020年3月期2Q	38,750,700株	2019年3月期2Q	38,750,700株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ウェブサイト (<https://ir.adways.net/>) にて開示予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して売上高は減収、利益におきましても減益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2019年3月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	22,488,430	18,023,498	△4,464,932 (△19.9%)
営業利益 又は損失(△)	566,524	△104,958	△671,482 (—)
経常利益 又は損失(△)	525,577	△21,248	△546,826 (—)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は 親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	262,159	△227,495	△489,654 (—)

(注) 当第2四半期連結累計期間において、営業損失、経常損失、及び親会社株主に帰属する四半期純損失であるため、対前年同期増減率を記載しておりません。

売上高は、国内広告事業のクライアントからの広告出稿が減少したこと、前第1四半期連結会計期間におけるNINT TECHNOLOGY HK LIMITED. (IADWAYS TECHNOLOGY LTD.)のMBOの影響等により、4,464,932千円減少の18,023,498千円(前年同期比19.9%減)となりました。

営業損失は、販売費及び一般管理費を抑制いたしましたが、売上高及び売上総利益が減少したこと等により104,958千円の損失(前年同期は566,524千円の利益)、経常損失は、営業利益の減少等により21,248千円の損失(前年同期は525,577千円の利益)となりました。

税金等調整前四半期純損失は、投資有価証券売却益等による特別利益を計上したものの、投資有価証券評価損等による特別損失を計上し33,268千円の損失(前年同期は532,460千円の利益)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は、法人税等を計上したこと等により227,495千円の損失(前年同期は262,159千円の利益)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第2四半期 連結累計期間 (2019年3月期)	当第2四半期 連結累計期間 (2020年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
外部 売上高	①広告 事業	スマートフォン 向け広告	10,208,774	8,921,481 △1,287,292 (△12.6%)
		PC向け広告	9,786,683	7,238,327 △2,548,356 (△26.0%)
		合計	19,995,457	16,159,809 △3,835,648 (△19.2%)
	②メディアコンテンツ事業	283,926	306,977 23,050 (8.1%)	
	③海外事業	2,181,752	1,330,107 △851,644 (△39.0%)	
	④その他	27,294	226,604 199,309 (730.2%)	
セグメント利益 又は セグメント損失 (△)	①広告事業	1,438,049	897,093 △540,955 (△37.6%)	
	②メディアコンテンツ事業	△49,499	30,932 80,431 (—)	
	③海外事業	6,434	△194,207 △200,641 (—)	
	④その他	△40,797	△39,862 935 (—)	

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の対前年同期増減率は、前第2四半期累計期間又は当第2四半期累計期間においてセグメント損失である場合は記載しておりません。

2. 第1四半期連結会計期間より、前期まで「アプリ・メディア事業」というセグメント名称で表記していた事業を、「メディアコンテンツ事業」という名称に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

①広告事業

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」を中心に、日本でのインターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第2四半期連結累計期間における広告事業のスマートフォン向け広告は、「UNICORN」が堅調に売上高を伸ばしたものの、前第2四半期連結累計期間に受注した海外の大型ゲームアプリクライアントからのインバウンド案件予算が縮小したこと等により、売上高は8,921,481千円(前年同期比12.6%減)となりました。

PC向け広告は、主にECクライアントからの広告予算が縮小したこと等により、売上高は7,238,327千円(前年同期比26.0%減)となりました。

この結果、広告事業の売上高は16,159,809千円(前年同期比19.2%減)、セグメント利益は897,093千円(前年同期比37.6%減)となりました。

なお、スマートフォン向け広告は主にアプリ向け広告の売上高で、スマートフォンブラウザを介したweb広告の売上高はスマートフォン向け広告ではなく、PC向け広告に含めております。

②メディアコンテンツ事業

メディアコンテンツ事業は、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいて主に土業向けのポータルサイト等の運営を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、事業が堅調に推移したこと等により、売上高は306,977千円(前年同期比8.1%増)となり、セグメント利益は30,932千円(前年同期は49,499千円の損失)となりました。

③海外事業

海外事業は、中国・香港・台湾・韓国・米国・シンガポール等において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間における海外事業は、前第1四半期連結会計期間にNINT TECHNOLOGY HK LIMITED.(旧ADWAYS TECHNOLOGY LTD.)においてMBOが行われ連結の範囲から除外したこと等により、売上高は1,330,107千円(前年同期比39.0%減)となり、セグメント損失は194,207千円(前年同期は6,434千円の利益)となりました。

④その他

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第2四半期連結累計期間におけるその他については、インフルエンサーを活用した事業が拡大したことにより、売上高は226,604千円(前年同期比730.2%増)と増加し、セグメント損失は39,862千円(前年同期は40,797千円の損失)となりました。

(2)財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2019年9月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資 産 合 計	17,820,343	16,929,650	△890,692 (△5.0%)
負 債 合 計	6,297,007	5,752,962	△544,045 (△8.6%)
純 資 産 合 計	11,523,335	11,176,688	△346,646 (△3.0%)

[資産合計]

- ・流動資産は、前連結会計年度末より955,021千円減少し14,153,438千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が166,193千円増加したものの、現金及び預金が1,291,464千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は、前連結会計年度末より64,329千円増加し2,776,212千円となりました。主な要因は、有形固定資産が21,568千円減少したものの投資その他の資産合計が101,390千円増加したこと等によるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は、前連結会計年度末より612,848千円減少し5,550,006千円となりました。主な要因は、未払法人税等が406,537千円減少したこと等によるものであります。
- ・固定負債は、前連結会計年度末より68,802千円増加し202,956千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が69,352千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・純資産は、前連結会計年度末より346,646千円減少し11,176,688千円となりました。要因は、利益剰余金が400,501千円、為替換算調整勘定が65,412千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、8,875,767千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、985,202千円の支出(前年同期は601,684千円の収入)となりました。主な要因は、減価償却費の計上66,819千円、及び前受金の増加116,481千円があったものの、税金等調整前四半期純損失の計上33,268千円、売上債権の増加237,067千円、未払消費税等の減少141,712千円、及び法人税等の支払額431,236千円があったことによるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、178,868千円の支出(前年同期は422,547千円の支出)となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入60,717千円があったものの、投資有価証券の取得による支出179,996千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出27,138千円、有形及び無形固定資産の取得による支出51,692千円があったことによるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、132,814千円の支出(前年同期は93,562千円の支出)となりました。要因は、配当金の支払による支出132,814千円があったことによるものであります。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが主に手掛けておりますインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われれます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携等を行うことで、取引の拡大と売上高の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。また、アジアをはじめとした海外においては、スマートフォンアプリ向け広告サービスの拡大を引き続き見込んでおり、各国の市場環境を鑑み、事業展開を行ってまいります。

このような状況のもと、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の売上高は、38,000百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の減少に伴う売上総利益の減少により200百万円を見込んでおり、経常利益230百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は30百万円を見込んでおります。なお、連結業績予想の修正については、本日(2019年11月1日)開示いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

また、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,167,232	8,875,767
受取手形及び売掛金	4,673,594	4,839,787
たな卸資産	5,128	7,948
その他	326,439	497,212
貸倒引当金	△63,934	△67,277
流動資産合計	15,108,459	14,153,438
固定資産		
有形固定資産	252,488	230,920
無形固定資産		
のれん	23,993	19,694
その他	268,421	257,226
無形固定資産合計	292,414	276,921
投資その他の資産		
その他	2,286,482	2,392,498
貸倒引当金	△119,502	△124,128
投資その他の資産合計	2,166,979	2,268,370
固定資産合計	2,711,883	2,776,212
資産合計	17,820,343	16,929,650
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,639,666	4,592,601
未払法人税等	468,783	62,245
その他	1,054,404	895,159
流動負債合計	6,162,854	5,550,006
固定負債		
その他	134,153	202,956
固定負債合計	134,153	202,956
負債合計	6,297,007	5,752,962
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,605,955	1,605,955
資本剰余金	7,280,242	7,280,242
利益剰余金	3,349,819	2,949,317
自己株式	△1,406,575	△1,406,575
株主資本合計	10,829,442	10,428,941
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265,516	369,932
為替換算調整勘定	274,453	209,041
その他の包括利益累計額合計	539,970	578,973
新株予約権	14,098	27,694
非支配株主持分	139,823	141,079
純資産合計	11,523,335	11,176,688
負債純資産合計	17,820,343	16,929,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	22,488,430	18,023,498
売上原価	18,567,892	15,053,910
売上総利益	3,920,538	2,969,587
販売費及び一般管理費	3,354,014	3,074,546
営業利益又は営業損失(△)	566,524	△104,958
営業外収益		
受取利息	11,074	5,871
為替差益	-	5,748
持分法による投資利益	-	52,061
消費税等免除益	3,363	1,754
投資事業組合運用益	37,929	-
その他	18,581	26,944
営業外収益合計	70,948	92,380
営業外費用		
為替差損	8,739	-
持分法による投資損失	97,349	-
投資事業組合運用損	-	8,029
その他	5,806	641
営業外費用合計	111,895	8,671
経常利益又は経常損失(△)	525,577	△21,248
特別利益		
関係会社株式売却益	63,614	12,468
投資有価証券売却益	39,039	54,061
特別利益合計	102,653	66,529
特別損失		
投資有価証券評価損	33,651	75,141
関係会社株式売却損	-	3,407
固定資産売却損	2,746	-
減損損失	59,373	-
特別損失合計	95,771	78,548
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	532,460	△33,268
法人税、住民税及び事業税	286,486	46,320
法人税等調整額	△21,227	142,520
法人税等合計	265,258	188,841
四半期純利益又は四半期純損失(△)	267,201	△222,109
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,041	5,385
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	262,159	△227,495

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	267,201	△222,109
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,024	104,415
為替換算調整勘定	△67,139	△64,188
持分法適用会社に対する持分相当額	△399	△5,353
その他の包括利益合計	△117,563	34,873
四半期包括利益	149,638	△187,235
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,201	△188,492
非支配株主に係る四半期包括利益	△562	1,256



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	532,460	△33,268
減価償却費	71,755	66,819
のれん償却額	14,194	4,298
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,692	37,492
賞与引当金の増減額(△は減少)	78,227	△49,320
株式報酬費用	-	13,595
受取利息及び受取配当金	△14,642	△9,639
為替差損益(△は益)	0	-
投資事業組合運用損益(△は益)	△37,929	8,029
持分法による投資損益(△は益)	97,349	△52,061
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△5,388	21,080
関係会社株式売却損益(△は益)	△63,614	△9,060
減損損失	59,373	-
固定資産売却損益(△は益)	2,746	-
売上債権の増減額(△は増加)	△636,234	△237,067
仕入債務の増減額(△は減少)	266,712	△1,764
前払費用の増減額(△は増加)	27,405	△49,966
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	49,198	△48,436
未収消費税等の増減額(△は増加)	△16,982	△76,125
未払消費税等の増減額(△は減少)	32,304	△141,712
前受金の増減額(△は減少)	113,286	116,481
預り金の増減額(△は減少)	3,139	△32,601
その他	△41,681	△103,469
小計	505,988	△576,698
利息及び配当金の受取額	117,695	10,946
補助金の受取額	1,480	11,784
法人税等の支払額	△23,479	△431,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	601,684	△985,202
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
貸付金の回収による収入	7,652	7,261
貸付けによる支出	△3,400	△18,730
投資事業組合からの分配による収入	56,346	2,929
投資有価証券の売却による収入	24,827	60,717
投資有価証券の取得による支出	△177,318	△179,996
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△140,759	△27,138
関係会社株式の売却による収入	-	29,400
有形固定資産の取得による支出	△29,064	△23,709
無形固定資産の売却による収入	3,936	-
無形固定資産の取得による支出	△99,786	△27,982
その他	△64,982	△1,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	△422,547	△178,868
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△91,417	△132,814
非支配株主への配当金の支払額	△2,144	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,562	△132,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	7,901	5,421
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	93,476	△1,291,464
現金及び現金同等物の期首残高	9,491,272	10,167,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,584,749	8,875,767

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	広告事業	メディア コンテンツ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	19,995,457	283,926	2,181,752	22,461,136	27,294	22,488,430	—	22,488,430
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	436,004	2,000	59,928	497,932	66,298	564,230	△564,230	—
計	20,431,461	285,926	2,241,680	22,959,068	93,592	23,052,661	△564,230	22,488,430
セグメント利益 又は損失(△)	1,438,049	△49,499	6,434	1,394,985	△40,797	1,354,187	△787,663	566,524

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△787,663千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「広告事業」セグメントにおいて、Mist Technologies株式会社の事業計画を見直したことにより、のれんの減損損失を59,373千円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	広告事業	メディア コンテンツ 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	16,159,809	306,977	1,330,107	17,796,893	226,604	18,023,498	-	18,023,498
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	237,612	-	16,699	254,312	46,233	300,546	△300,546	-
計	16,397,421	306,977	1,346,807	18,051,206	272,837	18,324,044	△300,546	18,023,498
セグメント利益 又は損失(△)	897,093	30,932	△194,207	733,818	△39,862	693,956	△798,915	△104,958

- (注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△798,915千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
4. 第1四半期連結会計期間より、前期まで「アプリ・メディア事業」というセグメント名称で表記していた事業を、「メディアコンテンツ事業」という名称に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについても変更後の名称で表示しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。